

## お互いの人権を尊重し、対等な人間関係を築く

### ～デートDVと児童虐待問題を考える～

主催：鹿児島南ロータリークラブ 共催：鹿児島北ロータリークラブ 指宿ロータリークラブ

協力団体：鹿児島子どもの虐待問題研究会

日時：平成29年9月21日（木） 14：30～

場所：鹿児島県立鹿児島東高等学校 大ゼミナール

講師：石走知子（いしばしり ともこ）氏

神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻博士課程後期課程 修了  
鹿児島大学 学術研究院 総合科学域 総合教育学系  
総合教育機構 共通教育センター 体育・健康教育部門 准教授  
専門は、思春期学、母性看護学、助産学、学校保健看護学  
その他、2003年より、鹿児島大学医学部保健学科生ピアカウンセ  
ラー養成のサポートや、ピアカウンセラーと共に、中学生・高校生を  
対象にしたピアカウンセリング、ピアエデュケーションを行う



#### ごあいさつ

鹿児島南ロータリークラブ 会長 上菌真歩

本日は、鹿児島東高校にご協力いただき、鹿児島南ロータリークラブ、鹿児島北ロータリークラブ、指宿ロータリークラブ、鹿児島子どもの虐待問題研究会で開催する講演会にお集まり頂き、誠にありがとうございます。

このイベントは、当ロータリークラブが児童虐待防止の活動を始めて今回で9回目となります。これまで、子供たちの明るい未来を支えるため、様々なテーマで精力的に取り組んで参りました。児童虐待の問題は、ここ数年多く報道されており、鹿児島県の相談件数で、平成27年度306件だったものが、平成28年度には352件と増加しています。

この児童虐待の早期発見・対応には、市民の皆様のご協力が必要不可欠であり、一人でも多くの方に児童虐待のことを広く知って頂くことが重要であります。その中で今回は、少し趣向を変え、高校生の皆様に、身近に起こり得るデートDV（Domestic Violence）と児童虐待を知ってもらうことを主旨に、本日は鹿児島大学の石走准教授にお越し頂きました。

内閣府男女共同参画局の最新の情報によると、DVの相談件数は、全国で年間約8千件も増加しています。DVでもその内容は様々で、体を痛めつけられる身体的暴力、怒鳴られたり・無視されたり・交友関係の相手から監視されるなどの精神的暴力、経済的暴力や性的暴力などがあります。これらは全て人権侵害であり、「配偶者からの暴力防止及び被害者の保護等に関する法律」いわゆる「DV防止法」によって規制があります。また、DVの相談件数の陰には、「自分にも悪いところがあると思ったから」や「自分さえ我慢すれば、このままやっつけていける」という理由から、暴力を受けながらも誰にも相談できずにいるケースが多々あるようです。

このことは、高校生の皆様にとって、決して他人事ではありません。最近では、スマートフォンなどの普及により、潜在的な被害は増えてきているとみられ、特に交際相手からの暴力、デートDVが問題となっています。高校生の皆様の多くの方がご存知と思われる有名アーティストの歌詞の中で、「人はそれぞれ正義がある。僕の正義が彼を傷つけていた」というフレーズがあるように、人の考えは千差万別です。自分勝手な思いだけでなく、相手を思いやる心があれば、DVや児童虐待は必ずなくなるはずですよ。本日のこの機会を通して、自分が「被害者」にも「加害者」にもならないためにも、「対等な人間関係」について学びきっかけとなり、そして、誰もが安心して自分らしく生きていける社会になることを切に願っています。当ロータリークラブの活動が、皆様の一助になれば幸いです。

最後に、本日の開催にあたり、学校関係者の皆様方をはじめ、ご講演頂きます石走先生に感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

